

# エコアクション21

# 環境活動レポート

対象期間:平成27年4月1日～平成28年3月31日

## 医王環境株式会社

発行日:平成28年5月16日

# 目 次

1. 環境方針	P1
2. 会社概要	P2
3. 対象範囲	P3
4. 組織概要	P4
5. 許可の内容	P5
6. 環境目標と実績	P7
7. 環境活動計画と実施状況及び次年度取組	P8
8. 環境関連法規の順守	P10
9. 代表者による全体評価と見直しの結果	P11

# 1. 環境方針

## 【基本理念】

医王環境株式会社は、環境負荷を低減しつつ適正な産業廃棄物処理を行います。

## 【環境保全への行動指針】

1. 具体的に次のことに取り組みます。

①電力・燃料を削減し、二酸化炭素排出量を削減します。

②水使用の削減に取り組みます。

③社内から発生する一般廃棄物を削減します。

④グリーン購入を積極的に行います。

⑤水質管理を徹底します。

⑥産業廃棄物処理に係る情報公開を行います。

2. 環境関連法規制や当社が約束したことを順守します。

3. この環境方針を従業員に周知し全員参加で取り組みます。

4. 環境への取り組みを環境活動レポートとして取りまとめ公表します。

これらについて環境目標・活動計画を定め、定期的に見直しを行い、継続的な改善に努めます。

制定日 平成24年4月1日

改訂日 平成25年4月1日

医王環境 株式会社

代表取締役 森 雄一

## 2. 会社概要

### 1. 事業所名及び代表者名

医王環境株式会社  
代表取締役 森 雄一

### 2. 事業所所在地

《本社》 〒939-1732  
富山県南砺市荒木505番地の1  
《処分場》 グリーンコスモス  
〒939-1606  
富山県南砺市能美字浦島

### 3. 環境管理責任者及び担当者連絡先

統括責任者 代表取締役 森 雄一  
環境管理責任者 森 進吾  
連絡先 〒939-1732  
富山県南砺市荒木505番地の1  
電話番号 0763-52-7770  
FAX番号 0763-52-3774  
e-mail green@kk-morigumi.co.jp  
HP <http://www.greencosmos.jp/>

4. 事業内容 産業廃棄物の処分、処分に関する事業

### 5. 事業の規模

活動規模	単位	平成27年度
廃棄物総受入高	m <sup>3</sup> /年	7,062
売上高	万円	6,330
従業員数	人	5
延べ床面積	m <sup>2</sup>	59.63

## 3・対象範囲

### 1. 認証登録範囲

全組織 医王環境株式会社

全活動 産業廃棄物最終処分場

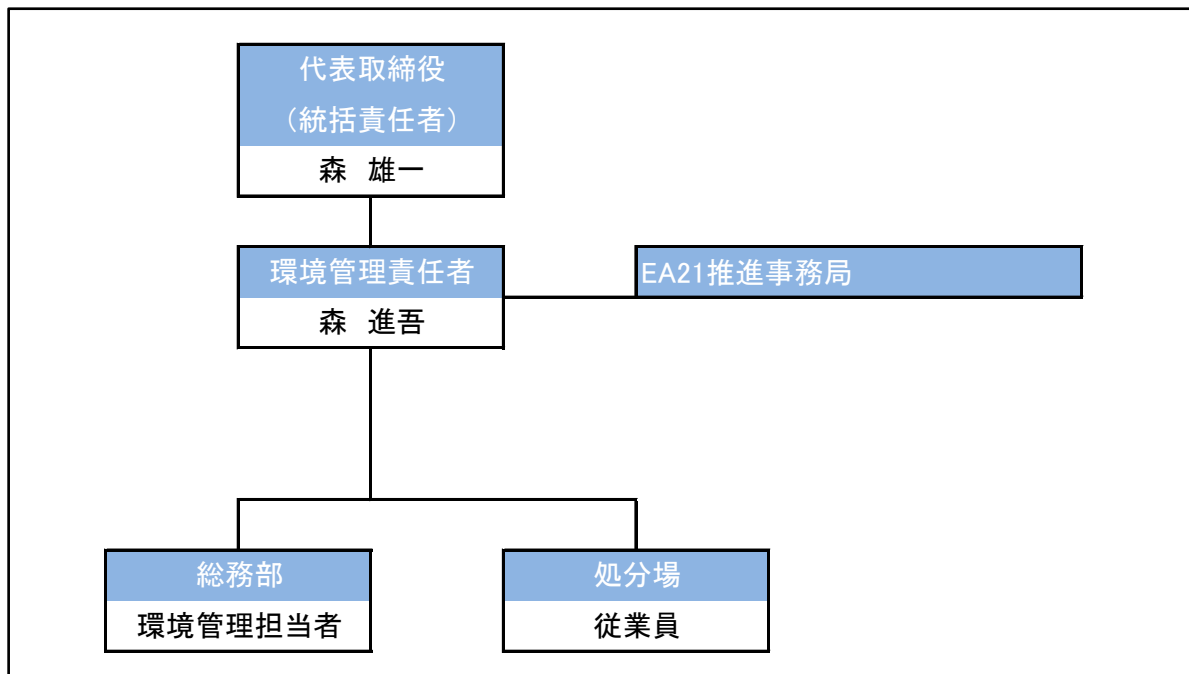
### 2. 環境活動レポートの対象期間及び発行日

平成27年4月1日～平成28年3月31日

平成28年5月16日発行

## 4. 組織概要

1. 設立年月日 平成7年 2月10日
2. 資本金 1,000万円
3. 売上高 6,330万円(平成27年度実績)
4. 組織図 ≪エコアクション21組織図≫



職名	役割
統括責任者 (代表取締役)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境管理責任者及びその他の責任者を任命する</li> <li>・環境方針を決定する</li> <li>・エコアクション21の総合評価と方針の見直しを行う</li> <li>・環境関連法令の遵守に関し、責任を持つ</li> </ul>
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・EA21推進事務局の運営を行う</li> <li>・エコアクション21の構築及び運用に関して該当責任者及びEA21推進事務局を指揮し、エコアクション21に係わる全ての事項を総括する</li> <li>・環境管理システムの構築・運用状況を統括責任者へ報告する</li> </ul>
現場管理担当者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担当範囲の環境負荷削減に責任を持ち、環境活動計画を実行させる</li> <li>・EA21推進事務局に参加し、取組状況の報告・目標達成のための提案を行う</li> </ul>
EA21推進事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メンバーは環境管理責任者を補佐し、エコアクション21に係わる事項の実務を中心的に行う</li> </ul>
従業員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚</li> <li>・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加</li> </ul>

## 5. 許可内容

### 1. 許可の内容

許可者	種類	積換保管	取得年月日	許可番号	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラ	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	ゴムくず	金属くず	ガラス陶磁器	鉱さい	がれき類
		有無	有効期限																
富山県	最終処分	無	平成24年11月6日	1634051320						○					○	○	○		○
			平成31年11月5日																

### 事業計画の内容

#### ①全体計画の概要

平成7年2月に協同組合医王環境を設立。平成9年11月より営業を開始し、平成12年11月に医王環境株式会社へ組織名を変更。

#### ②処分する産業廃棄物(特別管理産業廃棄物)の種類及び処分量等

	産業廃棄物(特別管理産業廃棄物)の種類	処分方法	処分量 (t/月又はm <sup>3</sup> /月)	備考
1	廃プラスチック類	埋立	200m <sup>3</sup> /月	
2	ゴムくず	埋立	100m <sup>3</sup> /月	
3	金属くず	埋立	100m <sup>3</sup> /月	
4	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	埋立	300m <sup>3</sup> /月	
5	がれき類	埋立	300m <sup>3</sup> /月	

## 2. 施設の状況

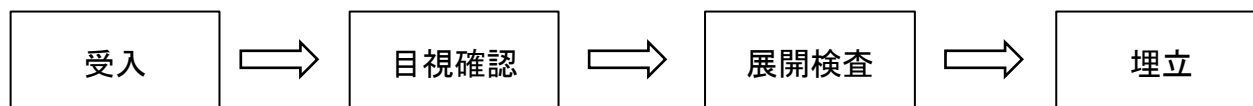
### 処理施設

区分	許可の内容
施設の種類	安定型最終処分場
設置場所	南砺市能美字浦島
設置年月日	平成9年6月25日
処理能力	埋立面積: 15,000㎡
	埋立容量: 177,400㎡
取扱廃棄物の種類	廃プラスチック類、ゴムくず、金属くず、
	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類
	(これらのうち自動車等破砕物であるものを除き、石綿含有産業廃棄物であるものを除き、特別管理産業廃棄物であるものを除く)(以上5種類)
許可年月日	平成7年8月11日
許可番号	第6-012号
処理方法	埋立

### 設置設備

施設・器具	数量	備考
トラックスケール	1台	

### 廃棄物処理工程フロー





## 6. 環境目標と実績

### 1. 環境負荷の過去実績と環境目標

	単位	平成26年度	平成27年度目標	平成27年度実績	平成28年度	平成29年度	平成30年度
二酸化炭素排出量の削減	Kg-CO2	(40,072)	(39,672)	(33,926)	(33,587)	(33,251)	(32,918)
(二酸化炭素排出係数)	Kg-CO2/KWH	0.663	0.663	0.63	0.63	0.63	0.63
購入電力	kWh	2,575		2,552	2,526	2,500	2,476
ガソリン	ℓ	4,533		4,104	4,063	4,022	3,982
軽油	ℓ	10,288		8,367	10,593	10,593	10,593
	ℓ/m <sup>3</sup>				1.5ℓ/m <sup>3</sup>	1.5ℓ/m <sup>3</sup>	1.5ℓ/m <sup>3</sup>
灯油	ℓ	372		334	331	328	325
一般廃棄物の削減	kg	0	0	0	0	0	0
水使用量の削減	m <sup>3</sup>	23	30	24	30	30	30
グリーン購入の推進	%	80	80	80	80	80	80
水質管理の徹底		適合	適合	適合	適合	適合	適合
維持管理情報の公開		HP情報公開	HP情報公開	HP情報公開	HP情報公開	HP情報公開	HP情報公開
受託産業廃棄物処理量	m <sup>3</sup>	5,169	—	7,062	—	—	—

※購入電力の二酸化炭素排出係数は0.63kg-CO2/kWh

(平成27年度より変更 0.663kg-CO2/kWh→0.63kg-CO2)

- ・平成28年度以降の目標基準は前年度比1%の改善とした。(軽油は原単位とする)
- ・一般廃棄物の削減については用紙の再利用を実施
- ・水使用量については、過去の使用量の平均を新基準とする
- ・グリーン購入については、エコマーク商品を選び購入をする
- ・化学薬品は極力使用しない

## 7. 環境活動計画とその実施状況、次年度の取組

平成27年度の計画、実績と評価

	単位	平成26年度	平成27年度		達成率	評価
		実績	計画	実績		
二酸化炭素排出量の削減	kg-CO2	40,072	39,672	33,926	117%	○
一般廃棄物の削減	注1	○	実施	○	○	○
使用済用紙の裏面・使用済封筒の再利用	%	100	100	100	100%	○
水使用量の削減	m <sup>3</sup>	23	30	24	125%	○
グリーン購入の促進	%	80	80	83	103%	○

- ・二酸化炭素排出量の削減については、全体的に基準を見直しを行った為に全体的に減少となった  
電力量については全体的には基準内に納まったが、上半期は使用量が多かったため管理を徹底する  
軽油使用量は受託廃棄物の処理、場内整備により各月で増減はあるが意識しながら管理を行う
- ・一般廃棄物の削減については、使用済用紙の裏面や使用済封筒の再利用を行い継続する
- ・水使用量の削減については、過去のデータから平均値を取り計画内で納まることが出来た
- ・グリーン購入については、手順書に従いエコマークの入った商品を選び購入をした

注1：使用済用紙の裏面・使用済封筒の再利用を行う

環境活動計画とその実施状況及び次年度の取組み

環境目標	具体的取組内容	評価	次年度への取組み	担当部署
二酸化炭素排出量の削減	空調の適温化(冷房26℃、暖房23℃)	○	継続	処分場・総務
	照明の適正化(昼光の利用、スイッチの適正管理)	○	継続	処分場
	重機への負荷の軽減	○	継続	処分場
	エコドライブの励行	○	継続	処分場
	石油ファンヒーターの設定温度(23℃)	○	継続	処分場
一般廃棄物量の削減	使用済用紙の裏面利用	○	継続	処分場・総務
	使用済封筒の再利用	○	継続	総務
水使用量の削減	節水シールの貼付	○	継続	処分場
グリーン購入の促進	事務用品グリーン購入比率向上	○	購入時	総務
水質管理での環境配慮	水質調査の徹底	○	継続	総務
優良産業処理業の認定	HPで情報公開	○	継続	総務
	電子マニフェストの運用	○	継続	総務
	優良産廃処理業認定制度の調査、理解	○	継続	総務

※ ○ 達成 △ 一部達成 × 未達成

※平成28年度の目標の設置基礎(平成28年4月～平成29年3月)

	単位	平成28年度計画	平成28年度設定の考え方
二酸化炭素排出量の削減	kg-CO2	33,587	平成27年度比1%減
一般廃棄物の削減	注1	実施	使用済用紙の裏面・使用済封筒の再利用をする
水使用量の削減	m <sup>3</sup>	30	30m <sup>3</sup> 基準とし超えないように維持をする
グリーン購入の促進	%	80	購入率を80%確保する

注1：使用済用紙の裏面・使用済封筒の再利用を行う

## 緊急事態訓練の実施

### 1.火災訓練の実施

- 【開催日】 平成27年10月16日(金) 13:00～14:00
- 【場 所】 産業廃棄物処分場場内
- 【参加者】 役員、従業員 計4名
- 【内 容】 産業廃棄物より火災が発生したことを想定  
場内より避難、消火器の使い方訓練



### 2.重機からの油漏れ訓練の実施

- 【開催日】 平成27年10月16日(金) 14:00～15:00
- 【場 所】 産業廃棄物処分場場内
- 【参加者】 役員、従業員 計4名
- 【内 容】 重機より油漏れが発生したことを想定  
油漏れ箇所に給水マットや中和剤での環境対応  
油漏れ緊急対応資材の保管状況の確認



## 8. 環境関連法規の順守

### 環境関連法規の順守と違反訴訟等の有無

法規制等の名称	順守事項	当社の順守内容	遵守状況
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	廃棄物処理施設に係る定期検査	5年3ヶ月以内	適
	維持管理情報の公開	HP上での情報公開	適
	維持管理積立金制度	環境保全機構への積立	適
	廃棄物処理施設における記録作成	廃止までの間	適
	マニフェストの保存	交付した日から5年間	適
	マニフェスト不交付時における廃棄物の引き受け禁止		適
	産業廃棄物処理委託契約書	契約書(許可証・有効期限チェック)	適
	産業廃棄物処理施設技術管理責任者の設置	設置済	適
廃棄物処理法令の確認	法律の確認	適	
富山県産業廃棄物適正処理に関する条例	産業廃棄物処理業(処分の計画)	県外産廃処分計画書	適
	産業廃棄物処理業(承認事業者適正処置)	県外産廃受入実績	適
地元他との協定について	公害防止協定(南砺市(旧福光町))	公害防止協定	適
	環境保全に関する覚書(能美部落)	環境保全に関する覚書	適
	土地賃借契約書(地権者)	契約条項	適

環境関連法規の違反及び苦情等はありませんでした。

なお、関係当局より違反、訴訟等の指摘は過去には一度もありませんでした。

環境関連法規に関しては自らが定期的に順守状況をチェックしていきます。

## 9. 代表者による全体評価と見直しの結果

当社は、平成24年4月よりエコアクション21認証取得を目指し取組を開始しました。  
平成27年4月から平成28年3月までの活動についての評価は下記のとおりです。

環境目標については、基準年を平成24年としてきたが、様々な業況の変化があり今期より環境目標を前年度の平成26年とした。

二酸化炭素排出量における、電力費、灯油使用料、重機燃料については前年度を基準とした。

水道使用量については、過去の使用量より平均を取り基準値とする。

今期より新基準で環境目標を行った結果、二酸化炭素排出量、水道水の削減に対しても基準内で納まり目標達成が出来た。

環境関連法規等の順守については問題無く、今後も環境関連法規を順守しながら進めていきます。

今後は目標値に対して更に削減に向け継続的に取り組んでいかなければいけません。

なお、経営規模の変化に左右されない環境目標の設定が必要であることから、来期目標を変更することとします。

また、全社員による環境負荷低減の為のルールを理解を深め目標達成に向けて意識を高めていきます。

平成28年5月16日

医王環境株式会社

代表取締役 森 雄一